



たはらトピックス

効果的な行財政運営のため 平成28年度行政評価を実施

⑩10002311

限

られた財源・人員でより大きな効果を得ること、また、事業の課題解決に向けて継続的に事務改善を行っていくことを目的に、田原市では毎年度、行政評価を実施しています。

◆平成28年度行政評価

平成27年度に実施した535事業のうち、評価すべき369事業について事務事業評価を行いました。

事務事業を妥当性・有効性・効率性の3点から評価し、事業改善効果評価も併せて行いました。

●妥当性評価

公的関与の必要性や市民ニーズ・社会動向を踏まえて、必要性が高い事業かどうか、また、事業の対象は適正かどうかを評価しています。

●有効性評価

事業の目的達成に向けた業務内容や実施手段となっているか、また、成果が上がっているかどうか

を評価しています。

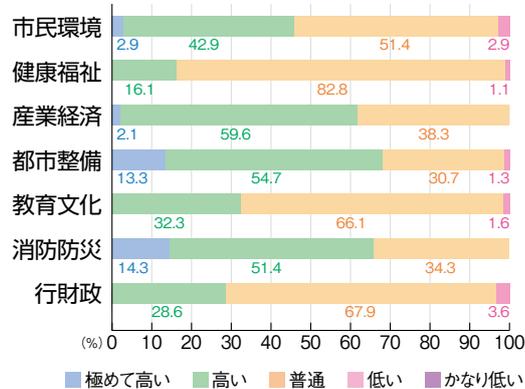
●効率性評価

事業の重要性や業務量に対し、コスト(事業費・人件費)の投入量が適正か、また、最少のコストで最大の効果が生み出せたかどうかを評価しています。

●事業改善効果評価

評価を行った事務事業について、事業の課題解決に向け平成27年度中に実施した取り組みの結果、事業改善効果がどの程度あったかを評価しています。

●事業改善効果評価(分野別)



事業改善効果の評価が低い事業については、取り組み内容の見直しを検討する必要があります。

■評価の低かった事業

合併処理浄化槽整備支援事業／保育園運営事業／中央公園整備事業／教育委員会運営事務／選挙啓発事業

今回は、保育園運営事業を取り

上げ、どのように改善していくかをご紹介します。

その他の事業についても、より効果的・効率的な行財政運営のため、今回の行政評価結果に基づいて、課題解決や事務改善に取り組んでいきます。

企画課 23・3507

どうやって改善しよう?

◎保育園運営事業

【目的】

次世代育成の環境の向上

市の財源を子どもたちの健全育成に有効に使うために、保育環境の質の向上や効率化に取り組む必要があります。

【課題解決に向けた取り組み】

● 適正化の実施(小規模園の解消)
限られた保育士を効率的に配置するために、小規模な園を解消し、保育士の再配置により保育の充実に取り組んでいます。

● 民営化の実施

児童・保護者の負担や不安を取り除きながら、民間保育園の持つ機動性や柔軟性を生かした保育サービスの充実や選択肢の拡大のため、公立保育園の民営化を進めています。

● 計画的な施設整備

園舎建設などは多額の経費がかかるため、小規模園を解消し、大幅な公費投入の抑制に取り組んでいます。



▲加治保育園と南部保育園を統合し、平成27年4月に開園した稲場保育園